



シルバーだより

かすみがうら

令和8年1月15日発行 公益社団法人かすみがうら市シルバー人材センター
編集 広報委員会 かすみがうら市穴倉5462 TEL 029-898-3130

第42号



かすみがうら市シルバー人材センター 検索

会員総数231名 男性146名 女性85名 (令和7年11月末日現在)

乗馬クラブ・筑波カントリーインスティテュート(かすみがうら市加茂)



明日まで
おめでとうございます



市内の皆様へ

「新たな仲間づくり」を進めています

新年明けましておめでとうございます。

私たちかすみがうら市シルバー人材センターは、原則六十歳以上の市民の皆様が会員になっていただき、地域社会に根づいた身近な就業の機会を提供し、高齢者の社会参加に積極的に貢献する事業を展開しています。

こうした事業をさらに広げるために、会員の新規加入促進と働き先の開拓など就業機会の拡大をめざす活動を促進しています。具体的には新年よりさらに次の二つの取組に力を入れてまいります。

①女性会員の増員 全国的にも女性会員は男性会員に比べて数が少ないという傾向にあります。当センターにおいても同様の傾向にあり、特に女性会員の新規加入に努めてまいります。

②八十代会員の就業機会の開拓 体力が衰えた会員でも楽しく作業のできる環境づくりを行ってまいります。

③派遣事業の拡大 専門的な技能や経験をお持ちの会員の方などは、事務補助・屋内清掃・商品仕分けなどの仕事を希望される傾向にあります。このような仕事は事業所や自治体に派遣される仕事になるケースが多く、当センターでも派遣就業を増やす取組を行ってまいります。

以上の三つの重点取組を通して、市内の六十歳以上の皆様を対象に「シルバー仲間」すなわち「新たな仲間づくり」を積極的に進めてまいりますので、どうか市民の皆様も私たちの取組にご理解いただき、仲間づくりへのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

かすみがうら市シルバー人材センター役職員一同

新年のご挨拶



理事長
豊崎 孝夫

会員の皆様、そして地域の皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素より公益社団法人かすみがうら市シルバー人材センターの活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。昨年でも会員の皆様のお力添えにより、地域のさまざまな場面で活動を展開することができました。心より感謝申し上げます。

会員の皆様には、長年培われた知識や技能を地域で発揮していただき、生き甲斐や働き甲斐にもつながっているものと存じます。今後も、皆様が活躍できる場をさらに広げてまいります。

一方で、定年延長や再雇用制度の定着により、会員の確保・拡大が課題となっています。そこで当センターでは、「新たな仲間づくり」として女性会員の拡大に取り組み、女性委員会の設置や催しを通じて「楽しく参加できるシルバー」を発信し、入会促進につなげてまいります。また、高齢者世帯のお困りごとに対応する「お助け

事業」にも力を入れ、生活を支えるサービスの充実を進めてまいります。

さらに、地域から依頼の多い草刈り・剪定作業は、従事する会員の高齢化により受注を制限せざるを得ない状況です。希望者を募り、後継者の育成に取り組んでまいります。

何より大切なのは、皆様が健康で安心して活動を続けられることです。そのため安全で働きやすい環境づくりに努めてまいります。「地域に根ざし、共に支え合う」姿勢を大切にしつつ、今年の干支が示す「新たな発展の芽」が育つ一年となるよう、さらなる前進を目指してまいります。最後に、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



かすみがうら市長
宮嶋 謙

新年、明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

かすみがうら市シルバー人材センターにおかれましては、高齢者の雇用安定と地域社会の活性化へご貢献いただき、更には市政各般にわたり、深いご理解と温かいご支援・ご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

会員の皆様が、これまで培われた豊かな知識や経験、技能を生かし、「自主・自立」の精神のもとに社会参加を続けておられる皆様の姿は、本市の大きな力であり、多くの市民に生きがいと希望を与えています。

また、地域の課題にともに向き合い、支え合う「共働・共助」の取り組みは、地域の絆を深め、人と人とのつながりを育みながら、地域の輪を広げていることを心強く感じております。そして、シルバー人材センターの活動が、世代をつなぎ、温かい地域づくりを進める大きな原動力となっています。

市といたしましても、シルバー人材センターがさらに充実した活動を行えるよう、運営を支援してまいります。皆様の豊かな知識や経験、技能は、これからの社会にとって非常に価値のあるものです。その力が地域の隅々まで届くよう、一層のご協力をお願い申し上げます。

結びに、シルバー人材センターの益々のご発展と、皆様方のご健勝、ご多幸を心からご祈念申し上げますとともに、今後とも市政に対しまして、変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。新年の挨拶といたします。

シルバー人材センターとは

- 活力ある地域社会づくりに寄与することを目的としている公益社団法人です。
- 市内在住の原則60歳以上の健康で働く意欲のある方はどなたでも会員になれます。
- 入会説明会を受講し、センターの趣旨にご賛同いただき、理事会の承認後、所定の会費を納入した方が会員となります。
- 仕事の内容により、請負・委任と派遣の2種類の働き方があります。
 - ・請負：業務の完成を目的(植木剪定・草刈り等)
 - ・委任：業務の遂行を目的(清掃・一般事務等)
 - ・派遣：会員は雇用され指揮命令を受ける(公共施設管理等)
- 請負・委任就業の場合で、他人の身体や財物に損害を与えた場合には、シルバー団体傷害・損害賠償保険で対応します。派遣就業の場合には、雇用関係が生じることから労災保険が適用されます。

市長と市議会議員に要望書提出

昨年十月二十二日と二十八日の両日、当センターの理事長、副理事長、就業開拓推進委員長、事務局長の四名で市役所（千代田庁舎）を訪問し、「地域社会に貢献するシルバー人材センターの新たな決意と支援の要望書」を、かすみがうら市長および議長に手渡しました。

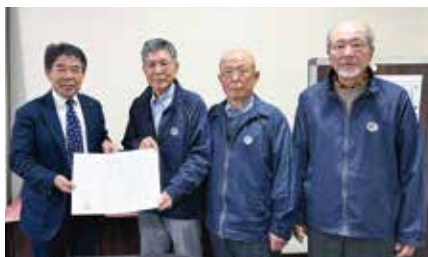
この要望書は公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会の令和七年度通常総会での決議に基づき、県シルバー人材センター連合会と当センターの連名で作成したものです。

市長および市議会議長には、当センターの会員数が年々減少傾向にある現状と、それに伴う事業収益の減少について、資料を用いて説明いたしました。また、会員拡大に向けた取組や、今後の事業方針についても説明し、要望書の趣旨をご理解いただくとともに、補助金の増額ならびに当センターへの一層のご支援を要請いたしました。

(吉藤記)



市長へ支援要望書提出



市議会議長へ支援要望書提出

安全衛生委員会活動

当センターでは、剪定・草刈作業を対象とした、安全衛生委員会による作業現場の巡回パトロールを定期的に実施しております。

十一月十一日に、理事長を始め、委員二名、職員一名にて剪定一件、草刈二件の現場の安全パトロールを実施いたしました。

剪定作業の現場では、ヘルメットや安全帯を使用しているか、三脚等器具の使用方法は正しいか等を確認し、現場の会員に注意点等を指導いたしました。

草刈作業の現場では、周囲に対する飛散防止対策や、会員同士が適切な距離で作業しているか等を確認・指導いたしました。

「安全は何より最優先」これをモットーに、安全衛生委員並びに事務局一同、事故ゼロを目指して、これからも会員の皆様が安心・安全に就業出来るよう、邁進してまいります。

(梅澤記)



草刈り現場の安全パトロール

就業開拓推進委員会活動

当委員会では、「新規会員の加入促進」と「就業先の確保・開拓」を目的に活動を行っています。最近の活動をご報告します。

昨年の十月十五日に、スーパーマーケットのセイミヤかすみがうら店において新規会員募集活動を行いました。この活動には、当センターの理事・監事さんをはじめ役員十人が参加。買い物客の方々にチラシをお渡しし、当センターの活動内容をお伝えしました。なおこの活動は、全国のシルバーで展開された「十月はシルバー人材センター事業普及啓発促進月間」に協賛しての行事でした。

このほか、九月八日、公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会主催でオンライン方式による「令和七年度会員拡大・就業開拓担当者会議」にも当委員会委員



昨年七月に実施したカスミ千代田店に続く第二弾として行われたセイミヤかすみがうら店での募集活動の様子

と事務局スタッフが参加する勉強会を開きました。さらに十月下旬には、かすみがうらの市の市報に当センターの新規会員募集のチラシを同封して市内各戸に配布するなど、委員会活動を推進しています。

(石原記)

役員合同視察研修

昨年十月二十四日、役員合同視察研修（総勢十八名）を実施しました。目的は、福島県いわき市の「いわき震災伝承みらい館」の訪問です。

館内には、東日本大震災による被害の映像や復興の歩みを伝える資料が展示され、災害の恐ろしさと備えの重要性を改めて学びました。現地では、すでに高さ十数メートルの防潮堤が整備され、高台への集団移転も進んでいました。語り部による案内では、当時の状況や体験談を伺うことができ、自然現象によって引き起こされる地震や津波の脅威を実感しました。

今回の視察を通して、震災の記憶を風化させず、防災・減災への意識を高めることの大切さを再認識しました。

(押野記)



語り部による説明

発注者の声

かすみがうら市介護長寿課

水野谷里子(敬称略)

本市では、市内の援助が必要な高齢者世帯に対して「軽度生活支援事業」という事業をシルバー人材センターに委託し、市内の高齢者世帯の援助を進めています。

高齢者にとって庭木の剪定や草取りなどの作業は負担が大きく、なかなか思うようにできないことから、多くの方に喜ばれている人気のサービスです。センターの会員の皆さまには、豊富な経験と確かな技術で丁寧に作業をしていただき、利用者からは「庭がきれいになって気持ちが良い」「自分では難しい作業を安心してお願いできる」との感謝の声が寄せられています。

また、作業を通じて利用者との会話も生まれることで、地域の見守りにもつながり、安心して暮らせる地域づくりにも大きく貢献いただいています。

今後も、シルバー人材センターの皆さま



の力を発揮してもらいながら、高齢者が安心して暮らせる地域づくりの一助になつていただければと、期待しております。

会員の声

堀野絹江(敬称略)

私はシルバー人材センターに入会して七カ月になります。ウエルネスプラザ内の清掃作業を週三、四回実施しています。

私はずっと自営業で飲食店やコンビニエンスストアなどで人とかわる仕事をしていました。その仕事を終えて十年のブランクがありますが、シルバー人材センターに入会しました。

働き始めるにあたり、「体力が持つだろうか」「みんなに迷惑をかけずにできるだろうか」と、不安がありました。しかし、実際に働き始めてみると適度な体を動かす機会になり日々心地よい疲労感と達成感があります。

そして、なにより私は人とコミュニケーションをとるのがとても好きなので、センターの方や館内でトレーニングしている人たちが優しく話しかけてくれることがとても嬉しいです。

新しい人との出会いもあり、仕事とおしていきいきと活動できることの喜びを実感しています。これからも健康に気を



つけながらウエルネスプラザを利用する皆さんが明るく元気になれるよう、二つひとつの作業を丁寧に取り組んでいきたいです。

会員交流サロン

趣味「盆栽」

飯塚貞夫(敬称略)

何の知識もない自分が盆栽に興味を持ったのは、当時職場の先輩や同僚から、「おめえもやってみろ」からで、いま思うと約六十年前のことになります。

当時は地域に盆栽の愛好者は沢山おられましたので、その地域の盆栽クラブへ入会しました。クラブでは実技の講習や先進地への研修や展示会の視察等が盛んに行われ大変参考になりました。盆栽にも基本的なものがあることを知りましたが、いまだに我流です。山取りをしたり、見ると欲しくなり購入したりし、種々雑多の盆栽です。管理が行き届きません。良く今日まで続けられたものだと思います。あと何年管理出来るかとも思い、健康に注意して生活しております。

盆栽にも流行りがあり、サツキが大ブームになりサツキ一色の時もあったかと思うと、山野草やエビネランのブームでは各地に園芸店なども開店するほどでした。山野草もずいぶん購入しましたが失敗しエビネランだけが残りました。最近では小品盆栽に人気があるようです。



いずれにしても樹種の寿命は分かりませんが、毎日が出会いです。言葉がありませんので用土の状態や葉の色を見ています。花物、実物、葉物等四季をとおして知恵と工夫を積み重ねながら管理を整え自分合った方法で自己満足しながら心行くまで楽しんでおります。

また盆栽やラン愛好者の多くの方々と出会い、情報交換や苦労話等の奥深い談笑にもなります。

これからは気候変動(地球温暖化)による環境の変化に対応した自分たちの生活とあつた管理が必要となることと思います。



事業活動報告

令和七年下半期



8/19

納 涼
カラオケ大会

8/26

障子・網戸張り
講習会

10/24

いわき震災伝承
みらい館
視察

11/3

かすみがうら祭



事故防止 一人ひとりの 自覚から

シルバー人材センター安全就業スローガン。スローガンは県シ連で募集した作品です。
令和5年度から3年間統一のスローガンです。

公益社団法人 かすみがうら市シルバー人材センター

新規 会員募集！



主なお仕事

- 草刈り・草取り作業
- 清掃作業・剪定作業
- 市報等配達・販売補助
- 一般事務
- 施設管理・屋内軽作業

女性会員歓迎！ 初心者、未経験者でも大丈夫
草刈り、草取り、剪定作業 歓迎！

ぜひ**入会説明会**へご参加ください！ 各日13:30～

会場: かすみがうらウエルネスプラザ かすみがうら市栄倉5462 (旧栄倉小学校)

令和8年 1月21日(水)／2月18日(水)／3月18日(水)

※入会は原則60歳以上のかすみがうら市在住の方に限ります。

※入会には所定の年会費がかかります。

※諸事情により、中止・延期となる場合がございます。事前に事務局へお問い合わせください。

かすみがうら市シルバー人材センター

☎029-898-3130 E-mail: kasumigaura@sjc.ne.jp

WEBサイト▶ かすみがうら市シルバー人材センター 検索

